

discover a whole new world

vol.6

枚方市立中宮中学校英語科通信

17 October 2017

英検(実用英語技能検定)申込

2017年度第2回英検の申込の受付を開始しました。中宮中学校準会場は、1次試験が10月7日(土)、2次試験は11月5日(日)です。学校内の申込み〆切は、9月7日(木)です。

申し込み方法は、1学期に配布した申込用紙に必要事項を記入の上、検定料を添えて、英語科の先生に提出してください。お金を持ってきた場合は、朝登校してすぐに職員室で英語の先生に預けるか、朝読書が始まるまでに担任の先生に渡してください。

受験級の相談、勉強方法や参考書の相談があれば、英語科の先生に申し出てください。今回はダブル受験をする人もいるみたいですので、受験時間が午後になるかもしれません。

夏休みにいっぱい英語の勉強できましたか？

英語の学習には多くの時間が必要といわれています。人それぞれ色々な勉強方法があると思いますが、短時間で英語ができるようになったという人はあまりいないようです(留学をして日本語を喋らない環境に身を置いたというような学習体験を除くと)。英語の達人たちも、時間をかけて、様々な方法で英語を習得したと言っています(参考：竹内理著 『より良い外国語学習法を求めて／外国語学習成功者の研究』松柏社)。

さて、君たちにはばかり勉強しろというのでは、示しがつかないと思い、先生も講習会に行き、『言語政策』について勉強してきました。言語政策というのは、国や政府が法律を通して、どの言語を使うことにするかを公式決定することです。政府(国)が公用語を「〇〇語」に決めるといえば、道路標識がその言語に代わったり、学校の授業が〇〇語になったりと色々な影響が出るものです。

ちなみに、ヨーロッパには複数の公用語を持つ国があります。国全体で、2つ以上の公用語が認められている場合もあれば、特定の地方で国家全体の公用語以外の言語、つまり地方の公用語が定められている場合もあります。例えば、ベルギ

ーではフランス語・オランダ語・ドイツ語、フィンランドではフィンランド語・スウェーデン語を公用語としています。スペインでは、国全体の公用語であるカスティーリャ語(スペイン語)のほかに、自治州憲章によってカタルーニャ語(バレンシア語)、バスク語、ガリシア語がそれぞれの地方公用語に制定されています。カナダでは英語とフランス語を公用語としています。講習会では、それぞれの国の公用語が制定された過程などが説明されました。そして、講習会の最後で、「今後の日本はどうなっていくのか？」という議論になりました。その時に話題に上がったのが、英語公用語化している企業です。有名な企業の1つでは、『楽天』があります。社長の三木谷浩史氏は、著書『たかが英語！』(講談社)の中で、世界企業は英語を話す。「英語公用語化」で、日本は復活すると書いています。楽天では、「TOEIC750点とらないと昇進(部長や課長になる)できない。」「会議や議事録はすべて英語で行う」などの取り組みをしています。ユニクロでおなじみのファーストリテイリングも社内英語公用化を実施しています。国内外を問わず、幹部レベルの会議や資料は全て英語に統一されています。英語公用語化の理由は「ユニクロは既に世界各国に店舗を展開しており社内グローバル化が必須であるという点と、世界で日本企業が勝ち残るためには語学が最低条件であるという点からです。」と書いています。

しかし、全員が英語化に賛成というわけではありません。津田幸男氏は、「英語を社内公用語にしてはいけない3つの理由」(阪急コミュニケーションズ)という著書も出版していますし、同時通訳者として有名な鳥飼玖美子氏も「〈英語公用語〉は何が問題か」(角川書店)という本を書いています。

私の個人的な感想を述べると、推進派の本を読むと、そんな無理矢理英語の勉強させなくても…。と思いますし、反対派の本を読むと、英語出来た方がええんちゃうの？と思います。これらの本を図書館に入れてもらいたい(先生から図書担当の先生に希望は出しました)と思っていますので、自分自身で読んでみてはいかがでしょうか？